

令和4年度 茅ヶ崎市民文化祭に参加

写真展

史跡・文化財めぐり

第301回 市内の大山道を訪ねるⅡ(22.7.9)

第302回 鎌倉市の玉縄城址と訪ねる(22.10.8)

相模川河口付近の野鳥たち

柳島海岸から見た風景



赤羽根 個人宅の狸大明神(タヌキ塚)―市内の大山道を訪ねるⅡにて

2022年10月31日(月)～11月3日(木) 10:00～16:00

(31日は13:00から 3日は15:00まで)

茅ヶ崎市民文化会館 A 展示室

この写真展は、(公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団主催、茅ヶ崎市共催の「茅ヶ崎、みんなのアートフェス 2022」参加事業です。

茅ヶ崎郷土会

## ごあいさつ

茅ヶ崎郷土会の写真展にご来場いただきありがとうございます。

史跡・文化財めぐりの様子と相模川河口付近の野鳥たち及び柳島海岸から見た風景の三部門の写真を展示いたします。

史跡めぐりは7月に行った大山道を歩く、10月に行った玉縄城址を訪ねてで撮影したものです。

相模川河口近辺の野鳥は、会員が長年にわたって撮影した鳥たちの写真です。

柳島海岸の風景は、これも会員がほぼ毎日撮影した写真の中から選んだものです。

茅ヶ崎郷土会の活動は当会のホームページでもご覧頂けます。スマートフォンやパソコンなどで「茅ヶ崎郷土会」と入力し、検索してご覧ください。

茅ヶ崎郷土会は会員募集中です。あなたの興味や趣味を茅ヶ崎郷土会で生かしましょうか。

令和4年10月31日

茅ヶ崎郷土会

## 令和4年度の史跡・文化財めぐり 展示写真一覧

### 第301回 市内の大山道を訪ねるII

令和4年7月9日(土)、室田から内蔵地区にかけて大山道を訪ねました。

案内説明は山本会員。

#### ①-1 龍澤山永昌寺(曹洞宗 室田一丁目)

#### ①-2 伝 室田三郎の五輪塔

永昌寺の境内は平安末～鎌倉時代初期の室田三郎の屋敷跡という伝説がある。(皇国地誌村誌)。室田三郎の墓と伝えられる鎌倉～室町期の五輪塔。

#### ①-3 出土した骨壺

五輪塔を移設したとき、その下に埋まっていた鎌倉期の常滑の骨壺。火葬骨が入っていた。

#### ②-1 室田の八王子神社社殿 (室田一丁目)

明治時代に一之宮(寒川町)の日野屋の屋敷稻荷を移したと伝えられている。

#### ②-2 山岡鉄舟書のある手水鉢

幕末～明治期の偉人、山岡鉄舟が書いた「龍」の字と、火災よけの呪言「日猷四海水」を彫りつけてある。

#### ③ 妙行寺の山門前 (松林三丁目)

明治22年(1889)に松林村ができたとき、役場は妙行寺境内に作られた。

#### ④-1 松林村役場跡の石碑と松林村の由来の石碑

妙行寺そばの大山道沿いに、松林村役場跡と松林村の由来の碑が立っている。

#### ④-2 現在の大山道の様子(松林三丁目のあたり)

関東各地から大山に通じる道を大山道(街道)と呼ぶ。藤沢の四ッ谷から始まる「田村通り遠山道」は茅ヶ崎を横切って寒川に抜けている。

#### ⑥-1 赤羽根の神明大神 (赤羽根468)

平安時代に源義家が勧請し(風土記稿)、近隣5ヶ村の総鎮守(皇国地誌村誌)と伝えられている。

⑥-2 マスクをした狛犬

コロナ禍の中、子どもをあやすお母さんも、子どもも、お父さんも、狛犬全員はマスクをしていた。

⑨-1 満蔵寺跡の墓地

大山道沿いの六地藏堂の奥の古い墓石の辺りは、神仏分離で廃寺となった満蔵寺(真言宗)の跡地。当時の住職は還俗して杉崎姓になった。

⑨-2 満蔵寺跡の墓地

古墓地の隣の杉崎家の墓地に、鳥花(杉崎鍋之進)と唾蟬坊(添田平吉)の句碑がある。

春風やいそがぬ人のそでを吹く(鳥花) 密会のかなしみを泣く蛍かな(唾蟬坊)

⑩-1 狸大明神を拝む

満蔵寺にいたずらをするタヌキが死んで、その狸を供養したタヌキ塚は、バイパス工事で移築され、赤羽根の城田家でまつられている。

⑩-2 狸大明神

「狸塚」と彫った石碑があり、隣には立派なやしろに狸大明神がまつってある。

⑩-3 タヌキの木像

城田さんのお宅にはタヌキの木像がある。タヌキ塚の供養をやってもらう菱沼の長福寺さんから贈られたもの。

⑪-1 本在寺の大山燈籠(高田一丁目)

かつて、大山の夏山に向けて村々で、組み立て式の大山灯籠を立てた。これは石造の大山灯籠。四ッ谷の大山道入口の「大山一の鳥居」に刻まれている江戸の石工の名前がある。

⑪-2 領主、大岡家の供養塔

高田村の領主は大岡家。寛文9年銘(1669)と享保4年(1719)銘の供養塔は大岡家歴代を供養したもの。

⑫-1 高田の熊野神社(高田一丁目)

高田村の領主、三代大岡忠高が万治元年(1658)に、紀州の熊野権現を勧請したと伝わる(明治10年皇国地誌)。

⑫-2 領主の名のある手水鉢

寛延4年(1751)の年銘と、領主の名「大岡吉次郎忠移(ただより8代)」、及び信州高遠の石工「守屋喜八」の名が刻まれている。

⑫-3 社殿裏のサイノカミ(道祖神)

石仏を集めてある中に、天保12年(1839)銘の男女2神のサイノカミがある。

○ 下赤羽根のサイノカミ(道祖神)

辻には靈魂が集まると考えられていた。それを鎮めるためにサイノカミは三つ、四つの辻に祭られていることが多い。

⑬-1 鷺茶屋(さぎじゃや)の跡

大山道が円蔵地区に入ると、昔、大山導者を相手にした鷺茶屋の跡がある。そのころは見晴らしが良く、東海道のあたりまで見えた。

⑬-2 約50年前の鷺茶屋跡

昭和50年(1975)頃に、東を向いて郷土会会員が撮影した写真。画面の右端に見えるコンクリートの墓地のあたりに茶屋があった。

## 第302回 鎌倉市の玉縄城址を訪ねる—

令和4年10月8日、大船駅で下車し、城址の急な坂道を登った。

案内説明は山本会員。

### ○ 大船駅でコースの説明

天気の良い日が続いていたが、高曇りの探訪に最適の日だった。

### ○ 大船観音さまに迎えられ

雨を止めてもらったことを感謝し、この日の無事をお願いした。観音菩薩は昭和35年(1960)に落慶式、同56年(1981)から曹洞宗大船観音寺が管理・運営している。

### ①-1 玉縄首塚 (鎌倉市岡本)

大永6年(1526)、安房の里見氏が鎌倉を攻めたとき、玉縄城初代城主の氏時はここで迎え撃ち、後にここで敵、味方の戦死者の霊をまつたと伝わる。(『風土記稿』)

### ①-2 玉縄首塚

六地藏や馬頭観音などの石仏の中に、一段と大きな、昭和43年建立の首塚由来の碑と、表面が剥離して年号不明の漢文の碑が立っている。

### ② 諏訪神社 (鎌倉市植木)

三代城主の綱成(つなしげ)が信濃の諏訪大社を勧請し、玉縄城中に祭り、天正18年(1590)の落城後の元和5年(1619)に現地に移したと伝えられている。

### ③-1 龍宝寺 (曹洞宗 鎌倉市植木)

玉縄城三代城主の北条綱成が創設した香花院を、六代城主の氏勝が大応院と改名し現在地に移した。その後、さらに龍宝寺と改名した。天正18年(1590)北条氏滅亡の時、なかなか降伏しない玉縄城主の氏勝を、寺僧良達が説得した話は有名である。

### ③-2 龍宝寺の「ぶっけりほとけ」

本堂の脇に、三代綱成、四代氏繁、六代氏勝の墓という石塔が並ぶ。移設される元の場所では、直しておいても転がっているの、ぶっけりほとけと呼ばれていた。

### ③-3 龍宝寺、新井白石の碑

江戸幕府に重用された儒学者の白石は植木村に200石を宛がわれていたそうである。白石の碑とされる石柱が境内にあるが、摩滅していて文字が読めない。

### ③-4 龍宝寺の庭園

龍宝寺(最初は香花院)は玉縄城の防御施設だった。北条氏の庇護を受けて広大な寺領を構えていた。私たちが訪れた日、コスモスが咲き誇っていた。

### ③-5 記念撮影

山門前でマスクを外しての記念写真。興味を抱き、見て歩くことは健康のもと。史跡・文化財めぐりは茅ヶ崎郷土会の中心的な事業。

### ③-6 玉縄城址の地模型

城址は宅地開発されていて、準備無くしては昔の様子をしのびがたい。山門横に「玉縄歴史館」がある。ここで事前勉強をしてから訪ねると効果的。

### ③-7 歴史館の展示 つぶて石

当時の武具の一つ「つぶて石」が展示してあった。この一撃を受けると、甲冑を着ていても強い衝撃を受けたようだ。

### ⑤-1 我々も本丸に向けて侵攻

東の方から登り下りする七曲り坂は車は通れない。距離は短いが急な坂道。

### ⑤-2 武者だまり址

「防御の拠点にした平場」とあるが、拠点にする程の広さは感じられなかった。

⑤-3 七曲り坂から見下ろす

三方を丘陵に囲まれた住宅街を抜けて、私たちは七曲り坂にたどり着いた。

⑤-4 太鼓やぐら址の説明板

七曲り坂を登り切ったところを「太鼓やぐら址」という。樹木に覆われて見通しが効かないが、昔は遠方まで眺められたのだろう。

④-1 玉縄城本丸の大手口址

本丸址はそのまま清泉女学院の校内になっていて許可無く入ることはできない。その一面に柵が設けられていて、「大手口址」と書いてあった。

④-2 本丸大手口の想像図

大手口址に立ててあった玉縄城の大手門の想像図。門が開かれて騎馬が2頭走り出している場面である。

⑦-1 ふわん坂

本丸址を後にした私たちはこの坂を下った。お城時代から使われている坂路である。すれ違いは出来ないが自動車が通る広さがあった。

⑦-2 鎌倉道の道標

ふわん坂を下ると大船・藤沢を結ぶ道路に出る。丁地路に2基の道標があり、年銘不明の塔に「従是(これより)鎌倉道」、万延元年の塔(1860)には「右かまくら道」、「左ふじ沢道」とあった。大船・藤沢間の道は鎌倉道と呼ばれていた。

⑧-1 久成寺(くじょうじ)(日蓮宗 鎌倉市植木5)

天正18年(1590)豊臣秀吉が小田原城を攻めるとき、徳川家康がこの寺に立ち寄り、また後年、家康が鷹狩りに出たときも立ち寄ったという。徳川家の葵の紋が目立つ。

⑧-2 長尾一族の供養塔

戸塚区長尾台は長尾氏発祥の地で、そこから移された長尾氏関係の石塔が置かれている。長尾氏は石橋山で真田与一の首を取った定景が有名。その後長尾景虎(上杉謙信)も出ている。

⑧-3 久成寺で終了

大船観音のお慈悲と、参加者全員の人柄の良さで、この日の史跡・文化財めぐりは無事に楽しく終了した。



相模川河口近辺の野鳥たち 展示写真一覧

柳島在住の杉山会員が長年撮りためた野鳥の写真。主に柳島の海岸、小出川の近辺などで撮影されたものです。茅ヶ崎郷土会のホームページでも一部を除き公開しています。



茅ヶ崎市の鳥  
シジュウカラ

1 アオサギ	22 オナガ	43 ササゴイ	64 ヒクイナ
2 アオジ	23 オナガガモ	44 シジュウカラ	65 ヒドリガモ
3 アオバト	24 カイツブリ	45 ジョウビタキ	66 ヒバリ
4 アカハラ	25 カラス	46 シロチドリ	67 ヒヨドリ
5 アマサギ	26 カルガモ	47 スズガモ	68 ビンズイ
6 アリスイ	27 カワセミ	48 スズメ	69 ホウロクシギ
7 イカルチドリ	28 カワラヒワ	49 ソリハシシギ	70 ホオジロ
8 イソシギ	29 カンムリカイツブリ	50 ダイサギ	71 ホオジロガモ
9 イソヒヨドリ	30 キアシシギ	51 チュウシャクシギ	72 ホシハジロ
10 イワツバメ	31 キジ	52 チョウゲンボウ	73 マガモ
11 ウ	32 キジバト	53 ツグミ	74 ミサゴ
12 ウグイス	33 キョウジョシギ	54 ツバメ	75 ミミカイツブリ
13 ウミアイサ	34 キンクハジロ	55 トウネン	76 ミヤコドリ
14 ウミネコ	35 クロサギ	56 ドバト	77 ミユビシギ
15 エゾビタキ	36 ケアシノスリ	57 トビ	78 ムクドリ
16 エナガ	37 ゴイサギ	58 ノビタキ	79 ムナグロ
17 エリマキシギ	38 コガモ	59 ハジロカイツブリ	80 メジロ
18 オオソリハシシギ	39 コゲラ	60 ハジロガモ	81 メダイチドリ
19 オオバン	40 コサギ	61 ハマシギ	82 モズ
20 オオミズナギドリ	41 コシアカツバメ	62 ハヤブサ	83 ユリカモメ
21 オオヨシキリ	42 コチドリ	63 バン	

## 柳島海岸から見た風景 展示写真一覧

柳島地区は相模川の河口近くにあります。

柳島に在住のM会員は、ほぼ毎朝海岸に出て、仲間と体操を続け、同時に風景写真の撮影を続けています。その膨大な画像の中から選んだ写真を紹介します。



烏帽子岩 夏

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 烏帽子岩 夏 20220430 撮影     | 19 一面のチガヤ 20220529 撮影      |
| 2 烏帽子岩 台風14号 20220919 撮  | 20 砂浜花壇 ハマダイコン 20220329 撮影 |
| 3 江の島 降り注ぐ朝日 20220308 撮影 | 21 砂浜花壇 ハマヒルガオ 20220504 撮影 |
| 4 大島遠望 20221012 撮影       | 22 砂浜花壇 手入れ 20220425 撮影    |
| 5 箱根の連山 20220327 撮影      | 23 海岸清掃 20220529 撮影        |
| 6 大山の方向 20220716 撮影      |                            |
| 7 夕焼けの富士 20210716 撮影     |                            |
| 8 初夏の富士 20220607 撮影      |                            |
| 9 昇る朝日 20220910 撮影       |                            |
| 10 朝焼けの空 20221011 撮影     |                            |
| 11 入道雲 20220808 撮影       |                            |
| 12 夏の雲 20220811 撮影       |                            |
| 13 二重の虹 20220902 撮影      |                            |
| 14 荒れる海 20220327 撮影      |                            |
| 15 流される砂 20220323 撮影     |                            |
| 16 恐竜のお散歩 20220602 撮影    |                            |
| 17 釣り人 20220626 撮影       |                            |
| 18 サーファー親子 20221002 撮影   |                            |

## 茅ヶ崎郷土会 入会案内

郷土史、名所・旧跡などが好きな人たちの集まりです

郷土史に触れ、書き残し、伝え、楽しみ、そして仲間づくり

- ・市内、市外の史跡文化財めぐり
- ・郷土史の勉強会
- ・大岡越前祭に「大岡越前守遺跡写真展」、市民文化祭に写真展。
- ・年間3回、会報『郷土ちがさき』を発行
- ・年会費 1,500円
- ・設立は昭和28(1953)年4月、会員は現在約80名。

**会員の方は友達を紹介してください。あなたも入会して一緒に活動してみませんか！**

問い合わせ 〒253-0008 茅ヶ崎市芹沢2132-2 平野文明

Tel 0467-53-2453 携帯 090-8173-8845 そのほか会員のだれにでも

-----<切り取り線>-----

### 入会申し込み書

(ふりがな) 氏名		
住所	〒 _____	
電話番号	(固定)	(携帯)
メールアドレス		
申込日	_____年 月 日	年度会費を添えて申し込みます。

### 今後の事業予定

- 11月15日(火) 下寺尾を訪ねるの事前勉強会 場所：市立図書館 午後1時半
- 12月10日(土) 303回史跡文化財めぐり「市内 下寺尾の歴史を訪ねる」  
集合の時間・場所検討中 お昼過ぎに現地で解散予定 雨天は一週間後の17日
- 11月27日(日) 第50回郷土芸能大会 市民文化会館 13時開演
- 1月24日(火) 郷土史勉強会 テーマ検討中 市立図書館予定 13:30から
- 2月7日(火) 丸山城址を訪ねる事前勉強会 市立図書館予定 13:30から
- 3月11日(土) 304回史跡文化財めぐり「伊勢原市に丸山城趾を訪ねる」  
集合の時間・場所検討中 午後、現地で解散の予定 雨天は一週間後の18日(土)

**茅ヶ崎郷土会のホームページのアドレスを変更しました。**

新 アドレス <https://chigasaki-kyodokai.com/>

「茅ヶ崎郷土会」で検索すると古いホームページが開きます。  
古いHPからも新HPに移れますが、ご面倒でも上記の新アドレスを入力する方が新しいHPに早く到着します。なお、HPの内容は変わっておりません。